

歯っぴースマイル通信



しんぷく歯科

〒899-4343

鹿児島県霧島市国分野口西20-17

TEL (0995) 46-6699

2014年歯っぴースマイル通信 秋号をお届けします☆

皆さん、こんにちは!(^^)!歯科衛生士の羽生です!!

長らくお待たせしました。秋の訪れとともに院内新聞の時期がやってきました♪

暑い夏も終わり過ごしやすい時期がやってきましたね(*^_^*)

皆さんはどうお過ごしでしょうか?

秋といえば食欲の秋☆美味しい食事も歯が健康でなければ食べられないので、しっかり

歯磨きやメンテナンス、虫歯・歯周病治療をおこないましょう!!

それでは院内新聞をお楽しみください(●>U<)ノ"



羽生

スタッフ紹介



こんにちは (*^U^*)

昨年の8月からしんぷく歯科で受付助手として働き始めた郡山美奈子です。働き始めて早1年が過ぎました。まだまだ覚えないといけないことだらけですが、優しい先輩達に囲まれて楽しく頑張っています!!

趣味は愛鳥と遊ぶこと、映画鑑賞です☆

動物も大好きなのでペットを飼われていらっしゃる方は、是非お声をか

けて下されば嬉しいです♪

色々なトークを楽しみましょう(^^)♪

歯っぴい
くんの

まちがいはなし

紅葉の季節。歯っぴいくんは読書の秋がマイブーム!
下の2つの絵には、5つの違いがあるんだ。
全部の違いを探してみよう!



歯っぴいくん



薬で治す最新の歯周病治療 (歯周内科)

●皆さんは歯周病治療と聞くとどのような治療をイメージしますか？

ほとんどの方が衛生士からの歯磨き指導や歯の表面や歯茎の中の歯石をガリガリ取ったり、ひどい場合は歯茎を切開したりする外科治療のイメージをお持ちだと思います。歯石取りや外科治療では、痛い、血が出るといったできればあまりしたくないというイメージです。

歯石を除去したりする歯のまわりのお掃除もとても大事な歯周病治療の一つですが、この基本的な治療をしても、なかなか歯肉の炎症が取れず、歯肉の腫れや出血・口臭で悩まれ、歯周病で歯を失う方がおられることも事実です。

ところが、痛みなどもなく簡単に薬で治す方法が見つかったのです。

一人一人お口の中に存在する菌は異なっています。原因である菌を特定し、薬でそれぞれの菌を退治する事ができるようになったのです。

この治療法は21世紀に入ってから行われている方法で、最新式の治療方法「顕微鏡を使った歯周内科治療」です。

●歯周病は全身にも影響を及ぼします。

カビが肺に入れば肺炎になるといわれており、歯茎の出血によって菌が血管に入り、心臓病になるともいわれています。歯周病の人は通常の2~3倍心臓病になりやすい事も分かっているのです。

その他、食道癌、糖尿病、早産、高血圧などにも関与しており、原因である菌やカビを取り除くことがとても重要になっています。

治療方法は

- ①位相差顕微鏡での菌の確認
- ②細菌の除去薬剤の内服
- ③カビの除去薬剤あるいはカビとり歯磨き剤での歯磨き
- ④除菌後の歯石とり

特に①は、非常に大きなポイントです。位相差顕微鏡でお口の中の菌を確認しなくてはなりません。

どのような種類の歯周病菌がいるのか、カビが多いのか、また非常に綺麗な状態なのか。

人それぞれ菌の質も違うので位相差顕微鏡でしっかり確認しないと、お薬の選択ができないのです。

歯周病が進行している場合などはPCR検査と言われる精密な菌種の特定をした方が良い場合もあります。

●PCR検査とは・・・

お口の中には約700~900種類の細菌が住んでいます。そのうち数十種類が歯周病に関係している菌です。

その歯周病菌の中で最も悪いと言われているのがRed Complex(3菌種)です。

重度の歯周病に影響があると言われている3菌種は
P.gingivalis(ポルフィロモナス・ジンジバリス)
T.denticola(トレボネマ・デンティコーラ)
T.forsythensis(ターネセラ・フォーサイシス)

これらの菌種のうち顕微鏡で確認できるのは、T.denticolaのみです。

(形が特徴的なので)P.gingivalis菌とT.forsythensis菌は非常に小さな桿菌なので顕微鏡では判別がむずかしいのです。

そのために悪さをする遺伝子をもった細菌がどのくらい潜んでいるかを調べることにより、歯周病を引き起こす悪玉菌の存在を感知します。

悪玉菌を発見するという事は、その病原菌によって病気になりやすいかがわかりいち早くよく効く抗生剤などで治療できアプローチがしやすいのです。



●薬による歯周病治療終了後に注意すること

- 1、歯周病は細菌による感染症なので、再感染に気をつけましょう。
回し飲み、回し食い、箸の使いまわし、キス、くしゃみなどで感染します。家族から感染しますので、夫婦一緒に治療することをお勧めします。
- 2、ブラッシング指導を受け適切な歯磨きをマスターしましょう。
歯周病を起こす細菌が感染しにくいように、ご自分でお口の中を清潔に保つように出来ることが大切です。つまり、歯石やカビ菌を定期的に除去して、そして毎日の適切な歯磨きを頑張りましょう。
- 3、定期的なPMTC(歯の清掃)を受けましょう。
歯周病を起こす細菌が再感染していないか、また、お口の中が再感染しやすい環境になっていないか、歯科医院での顕微鏡を用いた定期検診やクリーニング(PMTC)を受けるようにしましょう。